

上越市長

村山秀幸様

提 案 書

北陸新幹線、上越（仮称）駅のデザイン案について

鉄道・運輸機構 北陸新幹線建設局

北陸新幹線、上越（仮称）駅のデザインコンセプトに基づく駅舎デザインの提案について

北陸新幹線の建設につきましては、平素より特段のご配慮を賜り厚く御礼申し上げます。

鉄道・運輸機構は、平成26年度末の完成に向け鋭意工事を進めておりますが、新潟県民をはじめ多くの皆様の期待を受け、一日も早い完成を目指しているところでございます。

さて、上越（仮称）駅の駅舎デザインにつきましては、上越市長より本年6月3日に「上越（仮称）駅のデザインコンセプト」によりご要望をいただいているところでありますが、このたびその成果として、デザイン案3案をご提案できる運びとなりましたので、よろしくお取り計らい下さいますようお願い申し上げます。

平成22年10月25日

独立行政法人

鉄道建設・運輸施設整備支援機構

鉄道建設本部 北陸新幹線建設局長

木 村 宏

上越(仮称)駅デザイン案【A案】

「さくらと雪の平原」

～心地よい軽やかさと繊細さ～



(※ 駅名は仮称です)

- ・ 高田公園に舞う桜と高田平野の雪景色をテーマとしています。
- ・ ガラス面には桜吹雪や雪原をイメージさせる模様をプリントし、化粧方立てには桜色のパネルを連続的に緩やかな曲線状に並べることで、風に舞う桜の花びらを表現しています。
- ・ ホーム中央部からは、駅前広場の様子が良く見渡せ、ダイナミックな構成で企画されている都市施設と調和されたデザインとなっています。

(案のA、B、Cについては、順位を示すものではありません。)

上越(仮称)駅デザイン案【B案】

「三重櫓と歴史」

～城下町の落ち着きと重厚感～



(※ 駅名は仮称です)

- ・ 高田公園の三重櫓をモチーフに歴史を持つ落ち着きや重厚さをテーマとしています。
- ・ 上部には白いパネルとガラス面、下部には濃い色調のガラリや下見板風のパネルを配置することで三重櫓の白壁と黒い下見板、格子窓等による明快な構成を力強く表現しています。
- ・ 端部の窓は中央部の縦長な開口に合せ、縦型の採光窓としています。中央のシックな色調の壁面は、淡い色調で企画されている都市施設を浮かび上がらせて、夫々に存在感を持たせたデザインとなっています。

(案のA、B、Cについては、順位を示すものではありません。)

上越(仮称)駅デザイン案【C案】

「高原を渡る風」

～自然を感じるさわやかな涼風～



(※ 駅名は仮称です)

- ・ 高原の木立と木々の間を渡るさわやかな風のイメージをテーマとしています。
- ・ 大きなガラス面にランダムに取り付けたデザインパネルで高原の木立を軽快に表現し、そのパネルを壁面より少し浮かせることで立体感を出し、木立の間を渡る風を感じさせるデザインとしています。
- ・ ランダムに配置したパネルにより、ホーム中央部からの景観に変化を持たせています。ダイナミックな構成と淡い色調で企画されている都市施設と調和されたデザインとなっています。

(案のA、B、Cについては、順位を示すものではありません。)